

平成二十八年

大村町恵比寿六月燈

大村町子ども会劇「大村小学校」

《配 役》

| | |
|------|-----|
| 校長先生 | 朋甫 |
| 教頭先生 | 颯太郎 |
| 先生① | 美桜 |
| 先生② | 空來 |
| 先生③ | 竜成 |
| 先生④ | 空 |
| 児童① | 麻鈴 |
| 児童② | 大雅 |
| 児童③ | 愛翔 |

| | |
|------|----|
| 児童④ | 斗慎 |
| 児童⑤ | 隼汰 |
| 児童⑥ | 由來 |
| 親 | 圭佑 |
| 転校生 | 凌岳 |
| 進行 | 春音 |
| 特別参加 | 鈴菜 |
| | 砂羽 |

《用意するもの》

大村小学校の校歌(CD)、俳句を書いた紙、サッカーボール(4個)、バレーボール(1個)、蛇の玩具、

《あらすじ》

穏やかに過ごしていた大村小学校に、元氣すぎる転校生がやってきた。勉強が大嫌いな転校生を何とかしようとして先生達が頑張る。

《幕 前》

(春音、砂羽、鈴菜の順に幕前に整列)

春音 礼。これから大村町子ども会の劇を始めます。先ず始めに、来年から一年生になるお友だちの自己紹介を致します。

砂羽 (一歩前に出て「礼」をしてから)

わたしは、大冨祐輝の子、大村町五班の大冨砂羽と申します。来年から一年生になります。どうぞよろしくお願いします。(「礼」をして元の位置に下がる)

鈴菜 (一歩前に出て「礼」をしてから)

わたしは、井手年志子の孫、井手淑忠の子、井手鈴菜と申します。来年か

ら一年生になります。どうぞよろしくお願いします。（「礼」をして元の位置に下がる）

春 音

今年の大村町子ども会の劇は、「大村小学校」という劇です。大妻小学校が誕生する前に、大村小学校ではどんな出来事があったのでしょうか。最近、こどもたちはスポーツ少年団や塾通いなどで結構忙しく過ごしていますが、六月燈のために一生懸命稽古しました。どのような劇になるか、どうぞご期待下さい。（「礼」をして引っ込む）

《幕 前》

（大村小学校の校歌が流れる。幕前に、校長、教頭、美桜、空来登場）

美桜・空来 校長先生、教頭先生おはようございます。

朋甫・颯太朗 おはようございます。

朋甫 今日ほこどもたちの野外学習でしたね。

美桜 はい。今日は広段に出掛けて、二人で俳句の授業をします。

空 來 休み時間には、バレーボールやサッカーで遊ばせます。

颯太朗 野外学習だと、子供達が教室の授業よりも伸び伸びします。

朋甫 文武両道が我が校のモットーです。くれぐれも事故のないようにお願いしますね。時吉先生も同行させます。

美桜・空来 はい。分かりました。では、行ってきます。

（幕の間から引っ込む）

《第一幕》

（背景は、山の景色。下手から、美桜、空来を先頭に子供達が出てくる。竜成と空は最後尾。横一列に、麻鈴、大雅、愛翔、斗慎、隼汰、由來の順に並ぶ）

美桜 さあ、今日はここで勉強します。まず最初に、この前宿題を出しておいた俳句、暗唱できるようになりましたか。

全 員 はあゝい。

美桜 では一人ずつ、発表して下さい。麻鈴ちゃんから。

麻鈴 はい。(二歩前に出て、紙を広げて)「朝顔につるべ取られてもらい水」
美桜 はい、よく覚えましたね。次は大雅君。

大雅 はい。(二歩前に出て、紙を広げて)「閑かさや岩に染み入る蟬の声」
空来 よく勉強しましたね。今度は、愛翔君。

愛翔 はい。(二歩前に出て、紙を広げて)「菜の花や月は東に日は西に」
空来 心が寛くなるような俳句ですね。よく勉強しました。今度は斗慎君。

斗慎 はい。(二歩前に出て、紙を広げて)「雀の子そこのけそこのけお馬が通る」
美桜 はい、よくできました。何だか童話の世界みたいですね。次は隼汰君。

隼汰 はい。(二歩前に出て、紙を広げて)「古池や蛙飛び込む水の音」
美桜 蛙が飛び込むとき、どんな音がしたのでしょうか。ポツちゃんかな、ぼつちゃんかな。次は、由來ちゃん。

由來 はい。(二歩前に出て、紙を広げて)「明月をとってくれろと泣く児かな」
美桜 はい、皆さん、よく勉強してきましたね。では、どんな意味か言える人。

全員 はい、はい、はい。(みんな手を上げる)
美桜 では、麻鈴ちゃん、「朝顔につるべ取られてもらい水」はどんな意味ですか。

麻鈴 はい。朝、井戸に水くみに行ったら、朝顔のツルがつるべにまきついているので、切ってしまうのがかわいそうだから、おとなりに水をもらいに行った、ということですよ。

美桜 はい、よくできました。他の人はどうですか。
全員 はい、はい、はい。(みんな手を上げる)

美桜 では大雅君。「閑かさや岩に染み入る蟬の声」はどんな意味ですか。

大雅 はい。ひっそりと静まりかえっているところへ、蟬の音が聞こえてきて岩に染み入るほどだ、ということですよ。とにかくとても静か、ということですよ。

空 來

よく勉強しましたね。

俳句は、5・7・5のわずか17文字で、心の中や自然の様子を表しています。今度は、自分で作った俳句を紹介してもらいます。麻鈴ちゃんから。

麻 鈴

はい。（二歩前に出て、紙を広げて）

空 來

次は大雅君。

大 雅

はい。（二歩前に出て、紙を広げて）

空 來

次は愛翔君。

愛 翔

はい。（二歩前に出て、紙を広げて）

空 來

次は斗慎君。

斗 慎

はい。（二歩前に出て、紙を広げて）

空 來

次は隼汰君。

隼 汰

はい。（二歩前に出て、紙を広げて）

空 來

次は由來ちゃん。

由 來

はい。（二歩前に出て、紙を広げて）

空 來

はい。みんなとても良くできました。これからは俳句をたくさん作って楽しんで下さい。

全 員

（手を上げて）はあゝい。

《幕を閉め、幕前》

（校長と教頭が話している）

颯太郎

野外学習、楽しんでますかね。

朋 甫

美桜先生に空来先生、それに時吉先生もついていきますから大丈夫でしょう。

空

（下手から、転入生とその親を連れてくる）校長先生。転入生の凌岳君です。来週から大村小学校に来てもらいます。

圭 佑

凌岳の父親です。ひとつよろしくお願いいたします。

朋 甫
いや、こちらこそよろしくお願いいたします。どうでしょう、今広段で野
外学習をしています。子供達と会われてみては。

空
そのほうが凌岳君が早く溶け込めるかも知れません。私がお連れしましよ
うか。

圭 佑
ではよろしく願いします。

(みんな幕前から消える)

《第二幕》

(みんなでバレーボールやサッカーをしている)

(そこへ空に連れられて、圭佑、凌岳が下手から登場)

空
みんな！集まってくれ。(バレーボールやサッカーを止めてみんな集合す
る)来週からみんなの仲間になる凌岳君だ。凌岳君自己紹介しなさい。

凌岳 凌岳だけど・・・。

麻 鈴 凌岳君、サッカー得意？

凌岳 うん。

麻 鈴 じゃあ、一緒にやろうよ。

空
その前にみんなと握手したらどうだ。

(みんなと握手をしようとして、凌岳は「ニヤリ」と笑いながら、ポケッ
トから蛇を取り出し、振り回す)

全 員 わくわく、蛇だ！蛇だ！

(みんなが大騒ぎして急いで幕)

《幕前》

朋 甫 野外学習、どうでしたか。

美 桜 はい。俳句の学習のところまでは良かったのですが。

空 来 ール遊びの時、凌岳君がやってきて、みんなに蛇を振り回したのですよ。

颯太郎 来週から仲間になりやすいように、広段に行かせただけで逆効果でしたか。困りましたね。

美桜 こどもたちは凌岳君を怖がっています。

空來 一緒に勉強したくないと言っています。

朋甫 来週から転入することになっているので、凌岳君とみんなが仲直りする方法を考えなくてはいいけませんね。

颯太郎 凌岳君は、サッカーが得意だと言っていましたね。

美桜 はい。前の学校はたったの二人しかいなかったけど、サッカーボールで遊んでいたそうです。

颯太郎 そうですか。何とかなるかも知れません。(竜成と何やら耳打ちをする)

《第三幕》

(背景はシルバー。大村小学校校庭。朋甫、竜成、颯太郎、美桜、空來、その他生徒全員集まっている)

(空に連れられて凌岳が下手から登場。みんなは舞台の隅に逃げ出してしまふ)

凌岳君、サッカー得意なんだって？

うん。前の学校でやってた。

じゃあ、リフティングできるね。

できるよ。

じゃあ、これからどちらが長くリフティングできるか、競争しようか。

いいよ。

そこで約束だ。もし君が負けたら、もういたずらをしないこと。そしてみんなと仲良く勉強やサッカーをすること。どうだ、約束できるか。

良いよ。でもぼくは負けないよ。ぼくが勝ったら、どうするの。

君が勝ったらこれまで通り勝手にいたずらすればいい。(みんなに向かつて)凌岳君とリフティング競争できる人。

愛翔・麻鈴

(愛翔、麻鈴が「はい!」と手を上げる)

竜成

では、麻鈴ちゃんと愛翔君、凌岳君と勝負してもらいます。教頭先生にも加わってもらいます。私の笛の合図で開始だ。

(四人揃ったところで「ピー」)

(四人舞台中央に並んでリフティングを始める)

(しばらくリフティングは続くが、凌岳が力尽きる)

颯太郎

(リフティングを止めて)

凌岳君、サッカーはいくら一人だけ頑張ってもチームのみんなが力を合わせなければ、試合には勝てない。

朋甫

学校も同じだ。勉強の得意な子、苦手な子、かけっこの早い子、遅い子、それぞれだけど、みんなが仲良く助け合うところが学校なんだ。

颯太郎

凌岳君、約束だ。これからみんなと仲良くやっついていけるね。

凌岳

はい。ぼくも男です。約束を守ります。みんなと仲良くします。

朋甫

良かった、良かった。みんな、新しい仲間が増えましたよ。

(舞台の隅で見守っていた子供達と、「笑点」メンバーが舞台に集まる)

麻鈴

新しい仲間が増えたので、一発じめを行います。会場の皆さんもお手を拝借。「大村小学校の発展を祈念して」よろしくお。(パチン)ありがとうございます。ありがとうございました。

《急いで幕。低学年から順に並ぶ》

《ひとりひとり自己紹介して、終わり》